

# 出 会 い の 森

玉津小学校便り No. 7  
(令和3年10月5日発行)

玉津小学校

検 索

※ホームページもぜひご覧ください。

## 「未来に望みをかける」 ～希望～

校長 坂元 裕則

朝夕めっきり涼しくなり、日ごとに秋の気配を感じる季節となりました。保護者の皆さま、地域の皆さまにおかれましては、子どもたちへの心身の健康維持と励ましを続けていただき、心より感謝申し上げます。おかげさまで、子どもたちはコロナ禍が続く中ではありますが、日々の感染予防対策に注意しながら、明るく元気に学校生活を送ることができています。



さて、最近、私自身が最も注目している“ベスト3”をあげたところ、1位 玉津小学校の子どもたち、2位 新型コロナウイルス感染に関すること、3位 メジャーリーグ大谷翔平選手の活躍となった。「あまり趣味のない人だな。」と思われがちだが、4位、5位、6位・・・と順番にあげていけば、もちろん自分自身の特技、趣味などが入ってくるだろう。なぜ、この“ベスト3”なのか。それは、私が今、一番大切にしたい共通のキーワードがあるからだ。それは「希望」。つまり「未来に望みをかける」ということである。玉津小学校の子どもたちが未来に向けて輝く「希望」。また、新型コロナウイルス感染拡大が一日も早く終息し、今以上に充実した日々が過ごせることを期待する「希望」。そしてメジャーリーグの大谷翔平選手から学ぶ「敬意」と「希望」。ご存知のように大谷選手は今や日米問わず、多くの人々から称賛されている。それは投手、打者としての二刀流の記録だけでなく、彼自身の「人間性」に最大の魅力を感じているからではないだろうか。ゴミが落ちていたらすぐに拾う。道具を大切に扱う。誰にでも敬意を持って接する。チームやファンを常に大切に使う。いつでも笑顔を忘れない。実際にできそうで、なかなかできないものである。私も映像でしか見たことはないが、彼の姿を見れば見るほど新たな歴史の1ページを刻もうとする凄さにワクワクする。しかし、それ以上に人間性の素晴らしさに尊敬の念を持ち、自分自身の心に「希望」が満ち溢れてくる。

人は常に成長していくものである。その成長する中で大切なことは心に「目標」や「希望」を持って取り組むことではないだろうか。「自分にはできない。無理だ」とあきらめる前にまず自分ができることから始めてみることで続けてできるようになり、次の「目標」や「希望」が生まれてくる。そして、チャレンジする中でいろいろなことを学び成長していく。大谷翔平選手自身も多くの人々に出会い、学び、人一倍の努力があつて今があるのだろう。玉津の子どもたちがこれからの未来に向けて「目標」や「希望」を持って歩いていくことが私の一番の願いです。そして大人である私たちも「希望」を持って歩みたい。

